

まほろばの丘から

[文責]

校長 江頭 雄一郎



田んぼの苗を見て…

学校周辺の田んぼでは、今年も田植えが終わり、青々とした苗がきれいに並んでいます。風に揺れる苗の様子を見ながら、子どもたちの成長と重ね合わせて考えることができました。

田植えをされたばかりの苗は、どれも同じように見えます。しかし、これからの生長には違いが生まれます。茎が太く伸びるものもあれば、ゆっくりと生長するものもあります。それぞれの苗が自分の力で根を張り、やがて実りの秋を迎えていくのです。

子どもたちも同じです。同じ学年で学び、同じ教室で過ごしていても、一人一人の個性や得意なこと、成長の速さは異なります。すぐに力を発揮する子もいれば、時間をかけて大きく伸びる子もいます。大切なのは、周りとは比べることではなく、その子自身の成長を見つめることではないでしょうか。

また、苗が豊かに育つためには、水や太陽の光、そして農家の方々の丁寧な手入れが欠かせません。子どもたちの成長にも、安心できる環境や温かな励まし、見守り応援してくれる大人の存在が必要です。

学校では、一人一人の子どもたちが安心して学び、自分らしく力を発揮できる環境づくりに努めています。そして、子どもたちの可能性を信じ、その成長を支えていきたいと考えています。

今はまだ小さな苗も、秋にはたくさんの実りをつけます。子どもたちもまた、日々の学びや経験を積み重ねながら大きく成長していきます。子どもたち一人一人が自分らしい実りを迎えらるよう、これからも保護者・地域の皆様との連携・協働を図っていききたいと考えています。



規則正しい生活と会話を！

この6月は、4月からの緊張感が和らぐことで心身の疲れが表れたり、梅雨による天候不順や日照時間の減少、蒸し暑さなどにより気持ちが不安定になったりしやすい時期でもあります。そのため、友だちとのトラブルが生じたり、生活のきまりが緩みがちになったりすることもよくあります。

ご家庭におかれましては、「早寝・早起き・朝ご飯・ゲームやスマホの使用時間減少」を基本とした規則正しい生活習慣と、お子さんとの会話の時間を大切にいただければ幸いです。また、晴れ間が出ているときの外遊び（帽子着用・水分補給を）や軽運動、雨の日でも自分の足で歩くなど、体を動かすことも心身の不調を予防・改善することにもなるそうですよ。

